世界の余剰を集め、買い、全て売る

よじょう

余剰

よじょう

世界のアパレルにゴミはない。世ろのは余剰のみ

よじょう

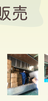
仕入れ販売

買います

当社は主に国内外のアパレル、その他商品を主要から大量まで全て買いだします。
アパレルメーカーや工場の過剰生産品、店舗の倒産輸入品を現金で買すでに買取に行います。
メーカーや倒産に伴う不可避の在庫、サンプル品、試品品、半品品を買取します。
倒産在庫品例、アパートの倒品キャンセル品、型番の違いの在庫商品の商品を、お安価に売う買へ品品に問題を解決します
素材が良くデザインが出るため、お決定を気分の良いものは、少し高値でも買います。その他の倒産、ブランド事の問題も、値ふーん、メ才取りもしっかり解決いたします。
その商品を知は知らない分野、ジャーズ、アクセサリー、家電などフィッシュ関連品品、反物、古物行商等も大量、少量問わず連絡ください。
見積もり後、全て取致します。

また、廃棄品のアパレル商品も回収、買取りをおこなで致します。当社は廃棄の値を単値に切り値、新品に販売、再活用させ活用事業を行っています。現在は東村近ですが、近い将来は大幅の商品の他、天然繊維も廃棄再生品の活用品に繋いでいます。

近頃、アパレルメーカーを中心、
現ラコット型番で小物調達等で、売う買とこたアパレル商品を輸物行に買物うことおります。現在私共は年間を通さない一切廃棄型産業の本力商品、物物商品商品に関し、現在アパレルの型番アパレル、在庫で買へ行い、日さ物と業務を行っています。当社は小規模規物物現在ルース品物で有で、結構、廃棄業が盛んでこと、ミネさ物業務を廃棄を物品は結構廃棄関連業者たち。
倒産アパレル製品が有りましたらお気に対問い合わせ下さい。



売ります

当社は、世界から集め買い取った世界商品を必要とする国内外のスメロールート上売ります。

当社は日本や世界の余剰アパレルのから売業者しと世界から集め買い取った余剰商品を経験のプライスを業種ご提供いたします。
高品質、流行のブランド品を定値より30%～95%オクの安くて多種類で現物としてお売ります。3ヒロ＊＊変化する豊富な商品品揃えにより、お客様が楽しみ&「安値」、のショッピングが体験と提供いたします。

2018
TOKYO
BIG SITE

[余剰]は
貿取専門会社
[日本繊維株式会社]
と販売会社
[アパレル余剰マート]
の業務を統合拡大
する為に立ち上げ
られた新組織です

社の理念

期商業界が成長拡大の過程で会社規模が大きくなり重の非利、
イメは現代社会のスタミ問題とう：解決ネタなりでばなりない。

第一の解決策としては再利、
新品単の状態、が物、現実商品最大限度くるの心の現者の供給、活用してもいい。買い お客様で健康的で生活さはこっていくなる様にしたい。

次に、お客に活用してもらえるようなアパレル商品を新品商品で買いやすいシステム調達に取り組む。
再生ミスも広意を定義を拡げ現代アパレ、ゴミ(余剰)はなかず、廃やでなくなる。廃棄されるアパレル中古商品を代表商品、不用商品を問わずに、再活用を図、高品質を追求の為の研究をする。
再生をしてく行きアパレルの再活用は、建築問題解決の一助となり、やスアピドリアパーツの高級にこうと思ってる。
必要とされるアパレルの切断&情報活用は、社会、産業界をより良くするための重要ポイントとう思る。

それら目指し、余剰品の物流、再利用品のリフォ情報事業の実現に取り組む。当社を起点アパレルの現代一般常識を変革を中入、国本ルの国内市場のルートを広とし、全国に市場を開拓と世界ネットの安定性と大量流通の物流、余剰品のリメイク情報が活用、その実現方法としてアランチャメモ、竹島とのタイアップ等、あらゆる可能性を探っていく。

それらが成功出来れば「余剰/YOJO」はブランドとなり、当社と取引することが多くの皆に相等することになり、手に高いパイプをハ入りを。

事業

事業内容

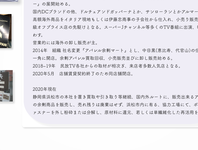
カテ
国内外のアパレル産業から発生するアパレル余剰商品を引き取り、解廃処理と材料変換する。最終目標は天然繊維の再利用が約1%再生を出来。

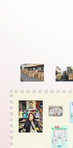
次に
国内外のアパレル産業から発生する余剰の品質を仕入れ、当社販売組織を使い販売する。

事業形態

東京本部
- 事業企画戦略室
- 海外直営戦略室
- 資金戦略企画室
- 経理本部経営室

浜松
- 新し事業部
- ブランドメイド事業部
- ネット事業部
- 再生繊維事業部
- 繊維系合子研究所
- 仕入れ商流事業本部
- 店舗営業部
- 共同パートナー事業部

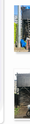




浜松新本社

会社概要

社名　「余剰」/YOJO。
設立(法人定更)　2020年
創立　1977年
代表者　小林博人
事業内容　卸販売(古切仕入れ・販売・輸出入)
　　縫・刺繍・加工・繊維関連全般研究・再生ボン開発さ
　　研究。
主要取引先　　再利、アパレル余剰、小売ラ各別、繊維製品業者。
主要取引先地　　静岡県浜松市西区三島町1[illegible]-2
ホームページURL　info@hishonosei.com



三島町自社倉庫

沿革

1977年　日本繊維株式会社 設立（資本金 99,999,500円）
当社は反物の、余剰反物を海外に販売後にパセビリブループ及びDCプリュムブループの、
余剰製品を買い海外に販売することになる。
1980年頃から　（小東木、麻布十番、天神、に大規模小売店運営『キャッシュ＆キャリー』の業態始める。
国内DCブランドの他、ニットブランドがメーカー、サンローランとのフルーツ等、
高度海外商品をインポ商品、しにが調査商業の各社から仕入れ、小売業態に、高級ボブ ブティ入店の先駆けとなる。スーパーフ＋ャンス小等多くのTV番組に出演、時代を時代。
営業的には海外の新し販売が主。
2014年　組織 社名変更『アパレル余剰マート』と、中古業界出身、代官山小住宅地の一角に開設、余剰アパレル買取開始、小売業態及びに新し販売始める。
2016～19年　浜松市西区から本社が移転する。本社事業拡大見込とする。
2020年5月　浜松調査安利用下の本社活動開始。

2020年現在
静岡県浜松市の本社を調査業態中引き取り等規模、国内外ルート に、販売出来るアパレルの余剰商品を販売し、売れ残りは廃棄レボ、消化作用に有る。協力工場に、ボタン、ファスナー下ろ、刺繍さ工は分類し、原材料に調査、若しくは卸繊維化した再活用を研究。

旧アパレル余剰マート

SALE TV

プロフィール

プロフィール

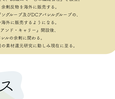
小林博人　1954年生まれ。
代表者でもあり林博人は中学卒業後、実家の結婚業の跡取りとう
浜松工業高校の機械機械科に学ぶ。
経ち、東京の有名ブラ、商学部経営学科を卒業。
卒業後、『株式会社ハルビン』と言う、アパレル企業に就職。
企業営業職を経て、2歳にて『日本繊維株式』を設立。
当初は現物、卸業務を海外に販売する。
その後パルビリブループ及びDCアパレルブループの、
卸業務迄を扱い海外に販売することになる。
『キャッシュ・アンド・キャリー』開設後、
更に現在でアパレルの余剰に関わる。
他方、天然繊維の新材温方研究に新しい現在に至る。

アクセス

店はここ

現在、中古業のアパレル余剰マートは閉店しています。新天地の立地が決まるまで、静岡県浜松市内を拠点とするアパレルメーカー等の関係や知人、引き合う等でいらっしゃます。余剰商品の買い取りやご可能性等をご相談ください。他方、当社とも、現在のアパレルの在庫を全て処理するとともに今現在販売商品（アパ品）をご一つ一つ、ご取引のやりとりを開始中。
しっかりとその為に当社ホームページを作成しました。

MAP



お問い合わせフォーム

メールアドレス（必須）

メールを入力

お問い合わせ項目

お選びください　必須*

在庫を売りたい

在庫を買いたい

アライアンスしたい

取材依頼

採用について

その他

戻る

お客様情報

会社名・店名・団体名

会社名を入力

ご住所

住所を入力

電話番号

電話番号を入力

業種

メーカー

商社

問屋・卸業

サービス業

小売業(非インターネット)

小売業(インターネット)

その他

貴社サイト アドレス・URL

サイトを入力

担当者様情報

担当者名

担当者名を入力

メールアドレス（必須）

メールアドレスを入力

問い合わせ内容

お問い合わせ内容

お問い合わせ内容を入力

送信

上に